

株式会社 井元製作所

<http://www.imonet.jp/index.html>

所在地	京都府京都市上京区今出川通七本松東入ル突抜町501	TEL&FAX	075-464-3630	075-463-2718			
代表者	代表取締役 井元 俊之	創立年月日	1987年6月	資本金	1,000万円	従業員数	30人

事業内容

株式会社井元製作所は高分子・理化学・医学・バイオの分野における先端研究開発機器の創造型技術メーカーとして、技術の向上を目指しつつ、積極的に開発を行っており、年間約200機種の製造を取り扱っている。

一例として

高分子領域／混練、プレス、塗工、延伸、各種試験、分析等の関連機器

医学薬学領域／生体組織硬度計測、スカフォールド等の関連機器

バイオ領域／細胞粉碎、微生物DNA抽出、凍結等の関連機器

がある。

開発例一覧



知的財産活用事例

株式会社井元製作所は下請け企業であったが、これからものづくり企業として成長していくためには、自社技術だけでなく、大学の知的財産の活用が必要であると考え、ものづくり技術を具現化するために、まったく大学との繋がりが無い中で、大学に飛び込んでトライ&エラーを繰り返していく中で、少しずつメーカーへと成長していくことができた。

ニッチな分野にターゲットを絞り、次々と製作を繰り返していく中、自社の技術と大学の知的財産を活用することで、筋肉の弾性(硬度)を測定する生体組織硬度計の開発に繋がり、ロングセラーとなる製品を手掛けるに至った。

知的財産の創出や活用に関する取組

ニッチな分野で次々と製作していくメーカーとしては、1つ1つ特許を取得していくのは費用面でも非常に困難である。

株式会社井元製作所では、迅速で、低価格なものづくりを行うために特許取得は考えず、次から次に製作を手掛けるオーダーメイド(特注)品を主流に取り組んでいる。

その中から、社内及び社外(販売先や弁理士等の外部人材)の意見を聞きながら、生体組織硬度計のようなロングセラー商品になる可能性のあるものを年に1件程度選定し、権利化する戦略を取っている。

起業を目指す人への知的財産に関するアドバイス

ものづくり、特にまだ世の中になく特注品を手掛けるニッチなものづくりの業界において、完成し、販売に至った後で権利化を考えるのは、決して後手に回った対応でない。

迅速な開発製造を最優先とし、市場の様子をみながら権利化するのも1つの戦略である。